









指揮者	1番員のホース延長が終わる直前に「止まれ」と号令する。
1番員	<p>指揮者の「止まれ」の号令で停止して、余裕ホースを右手で横に投げる。</p> 
2番員	<p>1番員の「放水始め」を復唱し、回れ右をして駆け足で4番員に伝達に行く。 ポンプの10m手前の位置から右手を真上に上げて、「放水始め」と呼称する。ポンプの手前2mの位置に至ったら、手をおろして止まる。</p> 
3番員	<p>とび口は、垂直に構えた状態から概ね45度の前方に傾ける。左手は柄の中心部付近を握り、腕を前方に真っ直ぐ伸ばし、左足を一步前に踏み出す。右手は柄の後端から約10cm付近を握って右腰部にあて、左足をやや曲げて、前方に体重をかけた前傾姿勢をとる。</p> <p>とび口不使用時は、吸管に枕木を取り付け後、駆け足でホースラインに沿って火点方向に向かい、2番員より2m後方でホースを地面に両手で押さえ（または、2番員の左斜め後方でホースを両手で保持し左足を半歩前に踏み出し）、筒先の補助にあたる。</p>
4番員	<p>2番員の「放水始め」の伝達に、右手を真上に上げ「放水始め」と復唱する。直ちに放水弁ハンドルを全開にするとともに、スロットダイヤルを操作して送水を開始する。</p> 




<p>指揮者</p>	<p>放水を開始したら、再び火点方向を向き姿勢を正す。</p>	
<p>1番員</p>	<p>筒先を両手で保持し2～3歩すり足で前進し、前方を注視して注水姿勢をとる。</p>	
<p>2番員</p>	<p>伝達終了後、回れ右で1番員の後方に至り「伝達終わり」と呼称した後、ホースを両手で保持し、右足を半歩前方に踏み出し、筒先の補助にあたる。</p>	
<p>3番員</p>		
<p>4番員</p>	<p>送水操作終了後、ポンプ計器側で火点方向を向き姿勢を正して待機する。 ※送水中は、送力圧力に異常がないか、圧力計を適宜確認する。</p>	

(3) 放水停止

指揮者	<p>1番員の方向に向きを変え、「放水やめ」と号令する。</p>	
1番員	<p>指揮者の「放水やめ」の号令で筒先ノズルを操作して放水を停止する。 放水停止確認後、「放水やめ」と復唱する。4番員の「放水やめ」の復唱を確認したら、筒先を下げてノズル操作により残水进行处理する。</p>	
2番員	<p>1番員の「放水やめ」の復唱に「よし」と呼称して後方に向きを変え、ポンプの2m手前に至り停止、右手を水平に横に上げて「放水やめ」と4番員に伝達する。</p> <p>3番員がとび口を使わない場合は、1番員の「放水やめ」の復唱後も筒先補助を続ける。</p>	
3番員	<p>(1番員の「放水やめ」に対する) 2番員の「よし」の復唱後、左足を右足に引き付け、とび口を右足側に立てる。</p> <p>とび口不使用時は、1番員の「放水やめ」の復唱に「よし」と呼称して後方に向きをかえ、ポンプの2m手前に至り停止、右手を水平に横に上げて「放水やめ」と伝達する。伝達後、筒先補助位置に至り、1番員に「伝達終わり」と呼称する。</p>	
4番員	<p>2番員 (または3番員) の「放水やめ」の伝達を受け、右手を水平に横に上げて、「放水やめ」と復唱する。スロットダイヤルを元に戻し、直ちに放水弁ハンドルを閉じ、エンジンを停止する。 停止後、ポンプ計器側で火点に正対し、姿勢を正して待機する。</p>	

指揮者	
1番員	<p>2番員（または3番員）の「伝達終わり」の呼称後、「よし」と合図して、左足をひきつけ、筒先の先端を持って右足側に立て姿勢を正す。</p> 
2番員	<p>伝達後、筒先補助位置に至り、1番員に「伝達終わり」と呼称する。</p> <p>3番員がとび口を使わない場合は、1番員の残水処理が完了したのを確認後、ホースを地面におろし姿勢を正す。</p>
3番員	
4番員	<p>停止後、ポンプ計器側で火点に正対し、姿勢を正して待機する。</p>

(4) 収 納

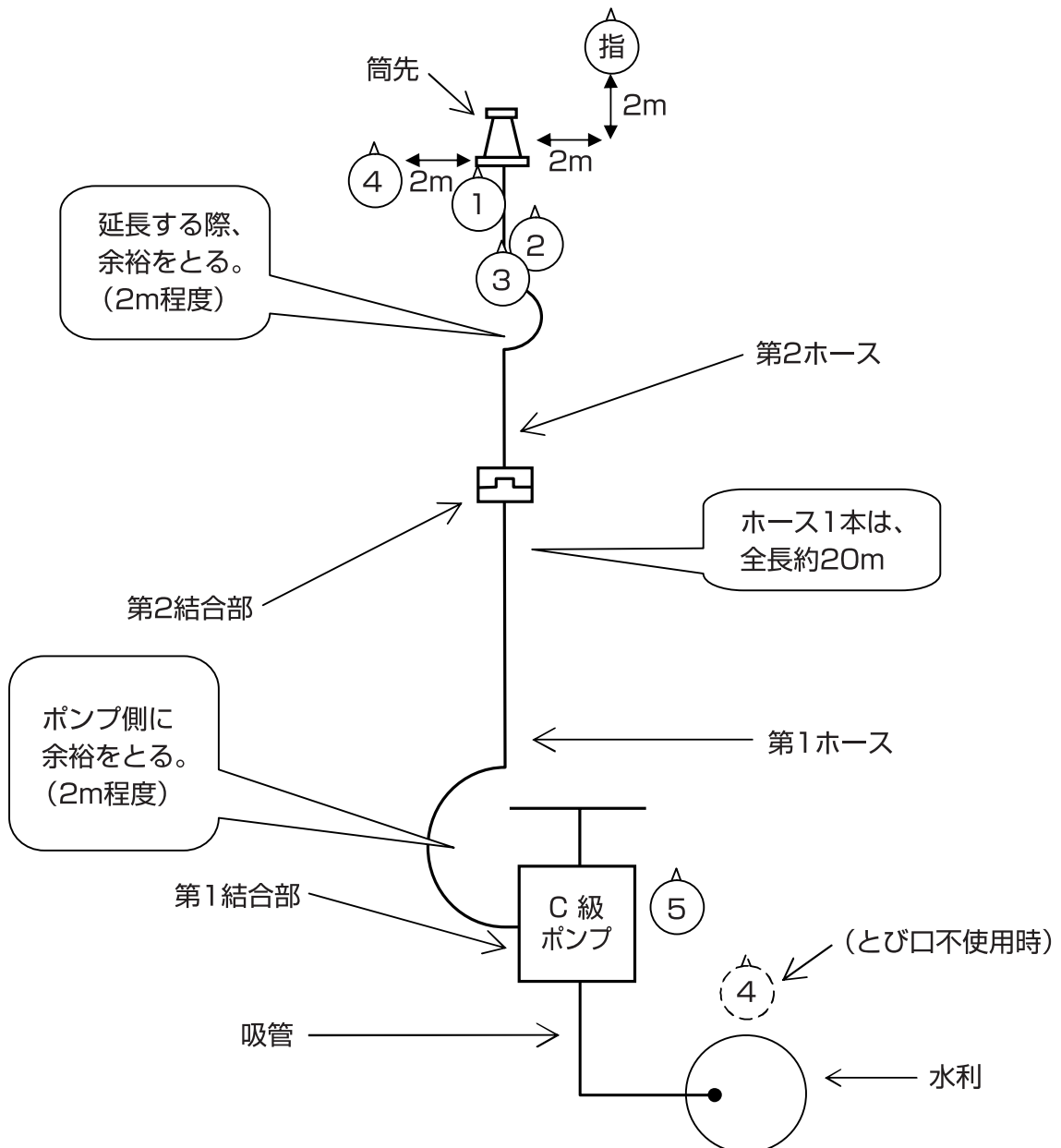
<p>指 揮 者</p>	<p>1番員の筒先からの残水が抜け全員が姿勢を正すのを確認後、「おさめ」と号令する。 号令後、1番員が筒先を背負って戻るのを確認してから、ポンプ前2mの位置に駆け足で戻り、姿勢を正して、1番員から4番員の整列が終了するのを待つ。</p>
<p>1 番 員</p>	<p>指揮者の「おさめ」の号令後、ホースの結合部を右足で踏み、両手で筒先をホースからはずして背負い、ポンプの筒先収納位置までホースラインに沿って移動する。 筒先を収納後、集合線に戻り「休め」の姿勢で待機する。</p> 
<p>2 番 員</p>	<p>指揮者の「おさめ」の号令で、ポンプ方向に向きを変え、ホースラインに沿って集合線に戻り「休め」の姿勢で待機する。</p> 
<p>3 番 員</p>	<p>指揮者の「おさめ」の号令で、ポンプ方向に向きを変え、左手でとび口の柄の中央部付近を持ち、とび口を下向きにして、左脇に抱えて、ポンプに至り、とび口を収納後、集合線に戻り「休め」の姿勢で待機する。</p> <p>とび口不使用時は、2番員と同じ動作</p> 
<p>4 番 員</p>	<p>指揮者の「おさめ」の号令で、第1ホースを離脱して、その場に置き、資器材を点検後、集合線に戻り「休め」の姿勢で待機する。</p>

<p>指揮者</p>	<p>指揮者は「気をつけ、わかれ」と号令し、隊員の敬礼を待って答礼（挙手の敬礼）し、直ちに手をおろす。</p>
<p>1番員</p>	<p>1番員から4番員は、指揮者の「気をつけ、わかれ」の号令で姿勢を正して挙手敬礼を行い、指揮者が手をおろすのを待って手をおろす。</p>
<p>2番員</p>	
<p>3番員</p>	
<p>4番員</p>	

C級ポンプ操法（6名操法）

1 人員、資器材及び水利等

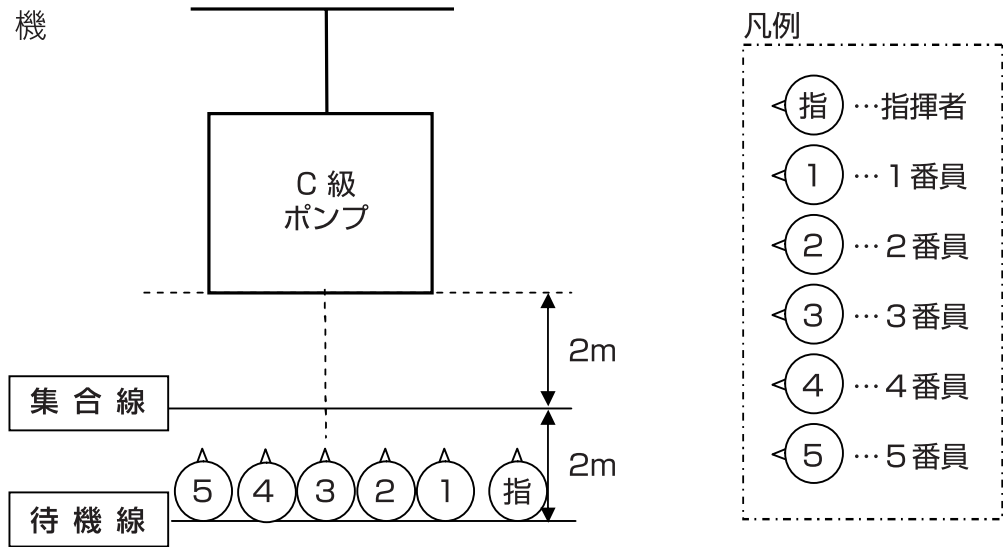
- (1) C級ポンプ操法（6名操法）に必要な人員は、指揮者1名、隊員5名とする。
- (2) C級ポンプを台車に積載した状態から操法を開始する。
- (3) 資器材は、二重巻ホース2本、筒先、吸管等を使用する。
- (4) 水利は、C級ポンプ（吸口側）側面から概ね2mの位置で、吸管を伸長しストレーナー部分が水利に投入できる位置とする。
- (5) ホース延長及び吸管延長は次のとおりとする。



C級ポンプ操法（6名操法）

2 待機、集合及び点呼

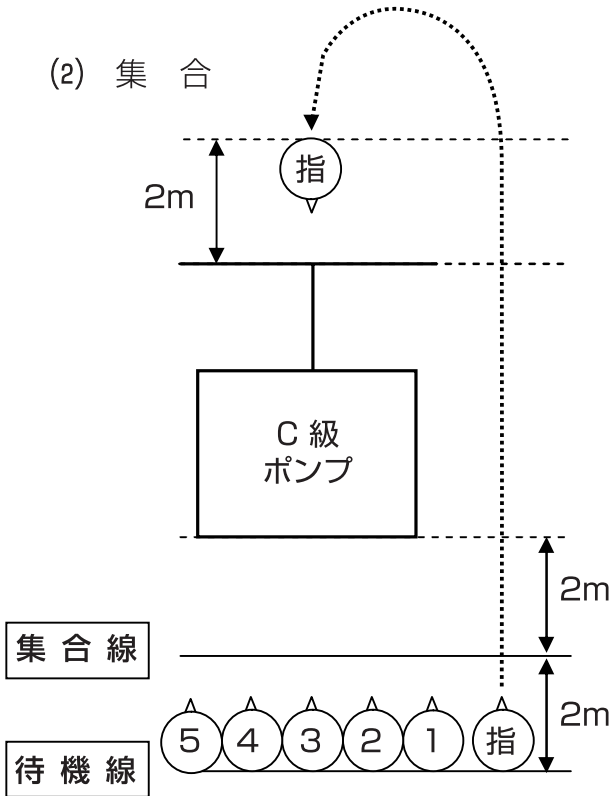
(1) 待機



指揮者、1番員から5番員は、集合線の後方2mの位置（待機線という。）で、3番員がポンプの中心となるように自主整頓を行った後、休めの姿勢で待機する。指揮者の位置は、1番員から右側に1歩離れた位置とする。

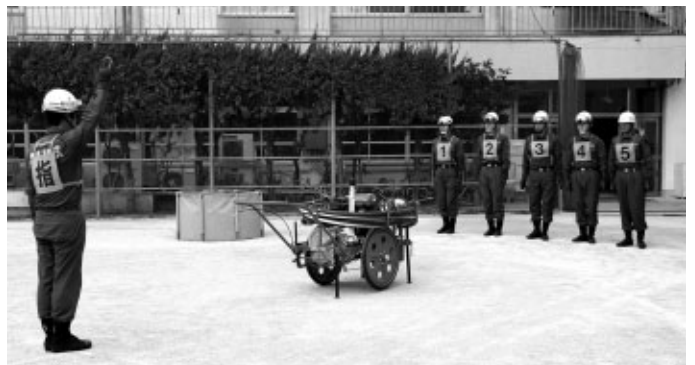


(2) 集合



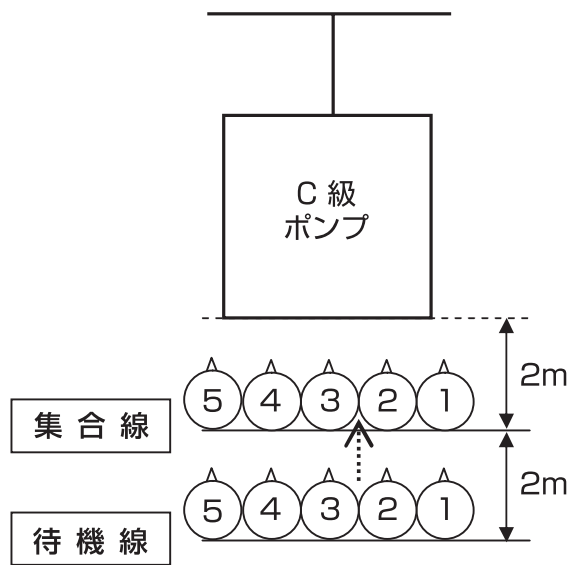
指揮者は、待機位置からポンプの右側を通り、ポンプの前方2mの位置で左に回り込んで、隊員に正対して姿勢を正す。

右手を上げ、「集まれ」と号令をする（隊員が集合線に概ね揃ったら手をおろす）。



「集まれ」

C級ポンプ操法（6名操法）



1番員から5番員は、指揮者の「集まれ」の号令に対して「よし」と呼称し、手をとりに取り駆け足で集合線に移動する。

移動後、2番員から5番員は右手を腰にとって自主整頓を行い、整頓が完了したら気をつけの姿勢をとる。



<自主整頓>

(3) 点呼

指揮者は、隊員が気をつけの姿勢をとったら、「番号」と号令する。1番員から5番員は、指揮者の「番号」の号令で、それぞれ「1」、「2」、…と呼称する。

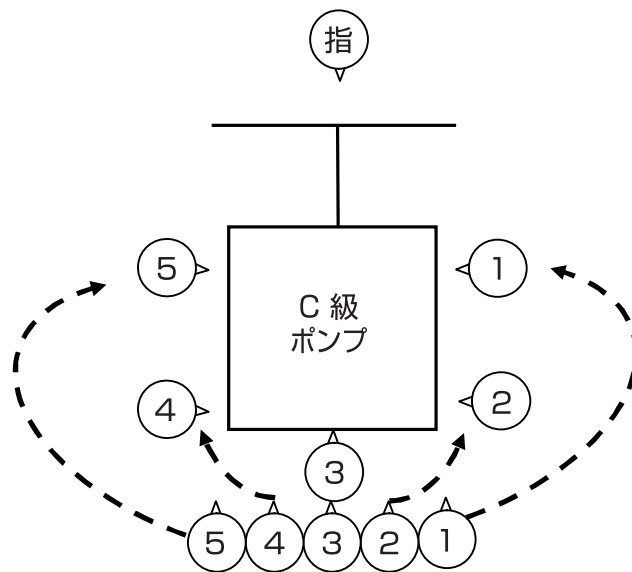
3

操法開始～収納

(1) 操法指示及び定位部署



指揮者は、「只今からC級ポンプ操法を行う」と操法を指示した後、「目標、前方の火点、定位につけ」と号令する。

1番員から5番員は、指揮者の「定位につけ」の号令に対して「よし」と呼称し、それぞれポンプ脇に移動する。移動後は、姿勢を正して待機する。



C級ポンプ操法 (6名操法)

(2) 操法開始

指揮者	<p>1番員から5番員が定位についたことを確認した後、「操作始め」と号令する。 その後、回れ右をして、1番員に先行して火点方向に向かう。</p>
1番員	<p>1番員から5番員は、「よし」と呼称後、近くの吸管止め金をはずし、全員で協力して吸管を持ち上げ、ポンプ後方1mの位置に搬送し、一旦地面に置いた後、ヨリを戻しながら吸管を延ばす。 吸管を延ばし終わったら、5番員は「よし」と合図する。</p>
2番員	
3番員	
4番員	
5番員	